

救急医療の現場が大変なのは分かりました。でも、何かあった時はどうすればいいですか？

対処方法や受診すべきかを医療スタッフがアドバイス

救急車を呼ぶべきか迷ったときは電話相談 緊急・重症の場合は、迷わず「119番」

電話相談	夜間・休日 おとな救急電話相談	夜間 子ども夜間安心コール
対象者	15歳以上の方	おおむね15歳未満の子ども
電話番号	プッシュ回線 #7119 プッシュ回線以外 022 (706) 7119	#8000 022 (212) 9390
相談時間	平日……午後7時～翌朝8時 土曜……午後2時～翌朝8時 日・祝日・年末年始 24時間	毎日 午後7時～翌朝8時

※電話相談時間外は、かかりつけ医や診療所などにご相談願います。

皆さんへのお願い

受診のきほん

医療機関には、それぞれの機能に応じた役割があります。役割に合った医療機関を受診することで、適切な検査や治療をよりスムーズに受けられます。

かかりつけ医とは

紹介受診重点医療機関とは

上手な医療機関のかかり方

かかりつけ医・身近な診療所などで受診

必要に応じて

紹介状の発行

紹介状がない場合、原則「特別料金」がかかります

紹介受診重点医療機関での受診

平日昼間の受診

急を要しない症状や軽症の場合は、日中に身近な診療所での受診やかかりつけ医に診てもらいましょう。救急医療機関は、緊急性の高い患者を受け入れるところです。

急性期後の早めの転院

急な病気やけがの症状が安定したときは、回復機能のある医療機関への転院をお勧めしています。新しい救急患者を受け入れるためにもご協力をお願いします。



仙台市立病院 救命救急センター長 山内 聡 医師

救急医療の現場からのお願い

胸痛や突然の麻痺、意識障害、呼吸困難などが現れた場合は、迷わずに救急車を呼んでください。それ以外の症状で救急車や救急医療機関の利用を迷った時は、「#7119」や「#8000」に電話してください。重篤な症状ではなく、ご自身で受診できる場合は「地域の急患センター」もあります。救急でない場合には、可能な限り日中にかかりつけ医などで受診をお願いします。これにより、救急医療が本当に必要な方々に迅速な対応が可能となります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

医療政策課 ☎022(211)2622

救急医療を守るには

適正利用にご協力を！

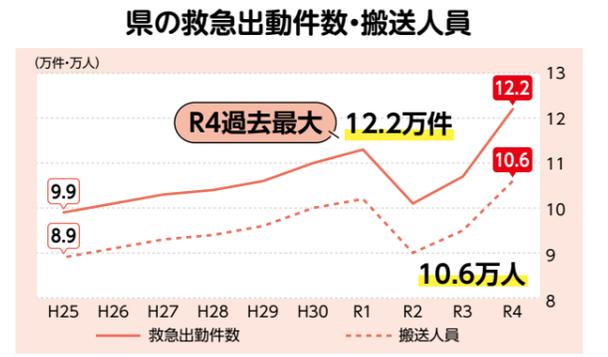


最近、救急医療の現場が大変って聞くけど、本当ですか？

本当です。救急搬送の件数が増加しており、救急医療の現場は逼迫した状況が続いています。そうした中でも、救急隊や医療スタッフは、適切かつ迅速な救急医療を提供するために尽力し、連日多忙を極めています。さらに、生産年齢人口の減少により、将来的に医師・看護師などの医療スタッフは減少していく見込みで、20年後の2045年には、現在の7割弱の医療スタッフで、増え続ける医療需要に対応しなければなりません(※)。

このような厳しい状況の中で、救急医療を維持するためにも、不要不急の救急車要請や時間外の救急医療機関の受診はお控えください。一刻を争う重症患者の命を救うために、皆さんの適正な救急車・救急医療機関利用へのご理解とご協力が不可欠です。

※生産年齢人口と同割合で医療スタッフが減少すると仮定した場合



出典 「救急・救助の現況」総務省消防庁



こうした救急車の要請や夜間受診はNGです

どこの病院に行けばいいのか分からないし、軽症だけど救急車を呼ぼうかな…

昼間は仕事があるし、夜開いている救急医療機関に行こうかな…